

第4次山武郡市広域行政組合集中改革プラン 令和3年度実績報告一覧表

1 事務事業の再編・整理、廃止・統合

実施項目	実施内容	成果目標	活動計画（上段）／実績（下段）					実績	財政効果等	担当所属
			R3	R4	R5	R6	R7			
1 組織機構改革・事務分掌の見直し	地方行政の進展及び状況に対応し、適切かつ効率的に事務処理を行うとともに、職員数の減少に対応できる簡素で効率的な組織機構の整備を図る。	・効率的、効果的な組織機構の構築と事務事業の整理合理化 ・意思決定の迅速化	適宜 実施	適宜 実施	適宜 実施	適宜 実施	適宜 実施	保健福祉課の事務分掌に、基幹相談支援センターの管理運営に関することを追加した。 なお、組合格約の改正については、市町間との協議により発生するものであり、その都度適宜対処する。		総務課
2 基幹系住民情報システムの5市町共同化	令和2年度現在、大網白里市、九十九里町及び芝山町の3市町で共同利用している基幹系住民情報システムについて、機器更改に当たり東金市及び山武市を加えた5市町による共同化を図る。	5市町の共同利用による経費削減及び市町の事務の軽減を図る。	決定 実施	実施	実施	実施	実施	基幹系住民情報自治体クラウド5市町共同利用運用を開始した。	①3市町が共同利用、東金市及び山武市が単独の場合の見積の合計金額 1,235,735千円 ②5市町の共同利用による契約金額 1,000,890千円 ①-② 234,845千円(19%の削減)	電子計算課
3 浄化槽管理清掃事業の縮小及び廃止	当該事業に従事する職員の退職時期を勘案し、契約物件数を段階的に減らすとともに、当該事業を廃止する時期を決定する。	当該事業を廃止する時期を決定する。	実施	実施	検討 決定	実施	実施	令和3年度の業務体制に基づき契約物件を減らして業務を実施した。また、次年度以降のスケジュールについても構成市町の了承を得た。 浄化槽管理清掃加入件数（）内は官公庁分 令和2年度末 268件（110件） 令和3年度末 217件（81件） 前年度比 △51件（△29件）		環境衛生課
4 視聴覚教材・機材貸出し事業の今後の在り方	視聴覚教材・機材の貸出し事業の今後の在り方を構成市町と協議する。	視聴覚教材・機材の貸出し事業の今後の在り方を決定する。	検討	決定 実施	実施	実施	実施	事業内容の課題を明らかにし、搬送・回収サービスを止め、令和4年度から原則窓口貸出しとすることができたが、事業の今後の在り方の決定には至らなかった。	令和4年度予算における搬送サービスの廃止に伴う経費削減額 ①会計年度任用職員1名分 △1,185千円 ②車両を教育相談係へ移管 △308千円 合計（①+②） △1,493千円	教育支援課

2 経費削減等の財政効果

実施項目	実施内容	成果目標	活動計画（上段）／実績（下段）					実績	財政効果等	担当所属
			R3	R4	R5	R6	R7			
1 事務執行経費の削減	事務効率を考慮しつつ、電気・ガス・水道の使用量の節減に取り組む。	電気・ガス・水道の使用量について節減を図る。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	年度当初に「省エネルギー対策の実施」について各所属へ通知し、令和3年度も全庁的に省エネルギー対策に取り組んだ。 電気、ガス及び水道使用量については、前年度と同程度の使用量に抑えることができた。		企画財政課
			継続実施							

3 給与の適正化

実施項目	実施内容	成果目標	活動計画（上段）／実績（下段）					実績	財政効果等	担当所属
			R3	R4	R5	R6	R7			
1 給与の適正化	人事院、千葉県人事委員会の勧告等に基づき、社会情勢に見合った給与（特殊勤務手当等を含む。）の適正化を図る。	人件費の適正化を図る。	適宜実施	適宜実施	適宜実施	適宜実施	適宜実施	人事院勧告、千葉県人事委員会勧告に基づき、期末手当の支給月数を年間△0.15月分引き下げた。 また、新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための特殊勤務手当を令和2年度に遡及し支給した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の期末手当の支給月数の引き下げによる影響額 △20,875千円</li> <li>新型コロナウイルス感染症に対処するための特殊勤務手当支給額 令和2年度分 528千円 令和3年度分 2,541千円</li> </ul>	総務課 消防本部（総務課）
			実施							

4 定員管理の適正

実施項目	実施内容	成果目標	活動計画（上段）／実績（下段）					実績	財政効果等	担当所属
			R3	R4	R5	R6	R7			
1 消防職員の適正な人員配置	適正な人員配置による業務の効率化の検討及び実施	国が示す消防力の整備指針を基に、当消防本部に即した適正な人員配置を行うとともに業務の効率化を図り、住民の安心と安全をより確実なものとする。	検討	検討	検討	検討	実施 決定	適正な人員配置を検討するための資料を作成し、労務管理面について総務課総務係内で検討を行った。 令和3年度作成資料 今後10年における消防職員年齢別構成 令和4年度 各所属ごとの職員態勢状況		消防本部（総務課）
			検討							

5 その他

実施項目	実施内容	成果目標	活動計画（上段）／実績（下段）					実績	財政効果等	担当所属
			R3	R4	R5	R6	R7			
1 ICTの利活 用の検討	防災対策やサイバーセキュリティに おけるICTの効果的な利活用の検討 を行うとともに、組合情報系システム のクラウド化の導入やテレワークが可 能な職場環境の整備に向け、必要な情 報収集も併せて行う。	クラウド化が可能なシステムは、順次 移行していく。	検討	検討	検討	検討	検討	オンラインによる会議の開催により、コロナ禍にお ける業務の効率化及び円滑化が図られた。		総務課
			適宜 実施							
2 し尿処理手数料 及び浄化槽汚泥 処理手数料の検 討	処理人口の減少等により歳入減が見 込まれるし尿処理手数料及び浄化槽汚 泥処理手数料について、毎年度コスト 計算を行う。 また、清掃基金の取扱い及び各処理 手数料の見直しについて検討する。	清掃基金及び市町負担金の扱いも含 め、適正な歳入の確保を図る。	継続 実施	継続 実施	継続 実施	継続 実施	継続 実施	山武郡市広域行政組合清掃基金運用要領について は、市町負担金の軽減を目的とした施設整備費への繰 入れが要領に基づいた処分となるよう処分の用途及び 処分可能額を追加し、また、既存の処分可能額につい ても見直しを行い改正を行った。 令和2年度の清掃費においては歳入が歳出を上回っ ていること、また、清掃手数料による収入が不足する 場合においては、清掃基金から不足額を埋めるための 財源に充てられることから、令和3年度についてはし 尿処理手数料及び浄化槽汚泥処理手数料の見直しは行 わないことを決定した。		環境衛生課
			検討 決定							
3 山武郡市急病診 療所に係る初期 救急医療の手法 見直し	山武郡市急病診療所に係る初期救急 医療の手法について、組合内で協議を 行い、山武郡市医師会の方針決定を経 た上で見直しを行う。	状況に応じて事業内容の見直しを行 う。	検討	検討	検討	検討	検討	診療所受診者の減少が続いているため、22時以降 の受診割合が全体の10%程度であったことから、令 和3年度より診療時間を1時間短縮し22時までとし た。 このことを踏まえ、山武郡市急病診療所の初期救急 医療の手法見直しについて、構成市町へ意向調査を行 い、当面の間、現状の診療体制を維持することとした。	診療時間を1時間短縮したことによ る削減額 ①嘱託医報酬 △8,118千円 ②看護師（会計年度任用職員） △1,145千円 ③事務員（会計年度任用職員） △1,054千円 合計（①+②+③） △10,318千円	保健福祉課
			実施							
4 養護老人ホーム 坂田苑の運営に ついて	養護老人ホーム坂田苑において、入 所者が年々減少していることから、適 正な施設の使用方法、建物・設備の修 繕計画、入所者の確保等について検討 する。	施設運営の健全化を図る。	検討	検討	検討	検討	検討	・大規模改修計画を作成し、構成市町の下承を得るこ とができたため、令和4年度以降、計画に基づき工 事を実施していく。 ・構成市町及び管外市町に対し、入所依頼を行ったが、 入所者増にはつながっていないため、今後も引き続き 入所依頼を行っていく。		養護老人 ホーム坂田苑
			検討 決定							